（様式５）

令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2024-031
プロジェクト名　網代の豊かな自然と人との縁に竹灯りを

プロジェクトの概要

静岡県熱海市の海沿いに位置する町、網代。この町は熱海や伊東に挟まれていながら知名度が低く、観光客もあまり訪れないことや住民の高齢化に伴う空き家増加や竹林放置などの問題が進んでいる。そんな網代の魅力を広め問題解決に繋げるため、放置竹林の活用に取り組んだ昨年度に引き続き今年度は、廃校となった網代小学校を舞台に「網代 MUSUBI 文化祭」を行なった。

プロジェクトの結果・成果

昨年度とは趣旨の異なった今年度の活動は「地元住民に向けた文化祭」をテーマとして行い、結果としては成功を収めた。
夏休みあたりから本腰を入れて活動を始め、遠方から参加の学生が多いためオンラインでの打ち合わせをメインとし、現地住民の方々と深い話し合いを行った。秋ごろからは実際に現地へ赴き、会場の雰囲気や実際の状況を体感しながら本番へ向けた活動をした。
また昨年度からの追加点として、地元店舗の飲食出店や子ども向けコンテンツの充実に力を入れたことで「文化祭」と呼ぶに相応しい内容となった。これらに注力したことによって、地元住民の方々に対しては食事をとりながら交流ができ、子どもたちも楽しく体と頭を動かせる場所としての提供ができた。協力出店団体の方々に対しても出店機会と利益の提供、及び地元住民の方との交流の場にもなり、企画・協力・参加の三者にとって互いに有意義な時間をことができた。
本番当日には熱海市の新聞社の方に取材に来ていただき、網代周辺から集まった子どもたちが思い思いに楽しむ様子が反響を呼んだ。地元住民の方の声としては、「高齢化の進んだ地域であるため子どもたちが楽しむ姿元気をもらった」や、「この町の魅力を再確認できる機会で、今以上に大事にしたいと思った」などの声をいただいた。

改善点として、昨年度よりも全体的にはパワーアップした内容でその分大変好評であったが、その反面地元住民の方に全面的にご協力いただいたため学生主導とは言えない過程であったこと、企画の充実に注力してしまい広報活動が疎かになってしまったこと、この二点があった。来年度もこの活動を続けられ、イベントを開催できるのであれば上記の反省点を確実に改善し、更なる企画拡大と網代の魅力宣伝につながるよう、意識してもらいたい。

活動写真





